

令和2年度事業報告書

I. 事業の概要

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館し、令和2年に開館15周年を迎えた。

また公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い平成23年3月23日公益認定を受け、同年4月1日に公益財団法人へ移行した。

令和2年度も事業計画に沿って、昭和天皇記念館の展示内容に一層の工夫をこらし運営の改善に努め、記念館以外の諸事業についても内容の充実に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため一部の事業を断念せざるを得なかった。

1. 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業

31,746千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、令和2年度においては、平常展示「昭和天皇87年のご生涯」及び「昭和天皇の生物学ご研究」のほか、企画展示として令和元年9月6日から同2年9月6日まで「昭和天皇・香淳皇后の御服」展を開催、その後は特定費用準備資金を取り崩し9月10日から令和3年9月5日まで4期に分けて開館15周年特別展示「昭和天皇とヨーロッパの旅—天皇への学びの旅と国際親善」の写真展を開催している。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大のため令和2年2月28日から5月31日まで、さらに12月26日から令和3年4月4日まで2回にわたり臨時休館したため、令和2年度の入館者数は、対前年度67.7%減の5,293名(うち有料入館者は4,695名)で、平成17年11月27日の開館以降の累計入館者数は324,121名となった。

※【記念館管理運営事業収入 1,862千円】

※【書籍頒布事業収入 83千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 2,230千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学究者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)及びそれに関する生物学分野の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、令和元年度までに97件(応募件数は1426件)の助成を行った。令和2年度も引き続き動物・植物における系統分類学の研究を対象として公募、応募件数45件(動物関係37件、植物関係6件、その他2件)の中から学術研究助成委員会で審査の結果、次の3氏が助成対象候補として選ばれた。令和3年3月3日の理事会(みなし決議)で承認され、事務局から学術研究助成金交付証が送付された。

中野隆文 京都大学大学院理学研究科准教授

【日本産ナミハグモ科クモ類の系統分類学的研究】

片桐知之 公益財団法人服部植物研究所所長

【ヤクシマオヤコゴケの系統分類学的研究】

高木悠花 千葉大学大学院理学研究院地球科学研究部門助教

【浮遊性有孔虫と共生藻類の共進化の可能性を分子系統解析から探る】

(3) 昭和天皇のご事績普及に関する事業の実施 16,156千円

①ご事績に関する事業 59千円

毎年行っている、昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるための講演とビデオ上映会、昭和天皇のご命日にあたる1月7日の御陵参拝、さらに昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の陵墓勤労奉仕は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度は実施できなかった。

②新聞「昭和」発行事業 11,040千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、新聞「昭和」を平成元年6月から発行、平成7年度からは一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。新聞「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容、さらには現皇室のご動静記事も掲載している。

令和2年度においても、引き続き新聞「昭和」(年6回、各20,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布した。

※【日本宝くじ協会助成金収入 6,433千円】

③昭和天皇御製カレンダー製作事業 5,057千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

令和2年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、令和3年版「昭和天皇御製カレンダー」(7,000部)を製作、贈呈頒布した。

※【御製カレンダー頒布収入 4,393千円】

事業費合計 50,132千円

※助成金等収入 −12,771千円

37,361千円

2. 収益事業

昭和天皇記念館MS事業 2,631千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営んだ。

※【記念館MS収入 3,164千円】

II. 主要な人事

令和2年

- 6月22日 伊吹 文明氏 代表理事就任
綿貫 民輔氏 代表理事退任
伴 襄氏 代表理事重任
伊吹 文明氏 理事(会長)就任
伴 襄氏 理事(副会長)重任、理事長重任
斎藤 十朗氏 理事(副会長)重任
草刈 隆郎氏 理事(副会長)重任
斎藤 誠治氏 理事(専務理事・業務執行理事)重任
綿貫 民輔氏 理事重任・名誉会長就任
伊藤 徳彦氏 理事重任
高山 亨氏 理事重任
吉川 通泰氏 理事重任
佐藤 浩二氏 理事就任
今井 靖容氏 監事再任
井原 好英氏 評議員就任
折笠竹千代氏 理事退任
佐藤 浩二氏 評議員辞任
- 7月 1日 今井 敬氏 顧問再任
岩崎 泉氏 顧問再任
千 玄室氏 顧問再任
田中 恆清氏 顧問再任
- 7月31日 綿貫 民輔氏 理事辞任

令和3年

- 3月16日 山崎 正昭氏 理事就任

III. 主要な会議

1. 理事会の開催

○第24回理事会

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年6月2日
理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 綿貫民輔
議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 綿貫民輔
理事総数 11名
監事総数 2名

(理事会の決議の目的である事項)

- 第1号議案「令和元年度事業報告書の承認」の件
- 第2号議案「令和元年度財務諸表の承認」の件
- 第3号議案「第20回評議員会(定時)招集」の件
- 第4号議案「理事候補者推薦」の件
- 第5号議案「監事候補者推薦」の件
- 第6号議案「評議員候補者推薦」の件
- 第7号議案「顧問委嘱」の件

○第25回理事会

日 時 令和2年6月22日(月) 16:00～16:15

場 所 砂防会館 別館六甲会議室

理事現在数及び定足数 現在数12名 定足数7名

理事出席10名、監事出席2名、同席者1名

議 事

- 第1号議案「会長、副会長、理事長及び専務理事選定」の件
- 第2号議案「代表理事及び業務執行理事」について
- 第3号議案「名誉会長の推戴」について

○第26回理事会

理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年3月3日

理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 伊吹文明

議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 伊吹文明

理事総数 11名

監事総数 2名

(理事会の決議の目的である事項)

- 第1号議案「令和2年度学術研究に対する助成事業承認」の件
- 第2号議案「令和3年度事業計画書の承認」の件
- 第3号議案「資産取得資金の計画期間(事業年度)等の変更承認」の件
- 第4号議案「令和3年度収支予算書の承認」の件
- 第5号議案「第21回評議員会(定時)招集」又は「みなし決議」の件
- 第6号議案「理事候補者推薦」の件

2. 評議員会の開催

○第20回評議員会

日 時 令和2年6月22日(月) 14:00～14:45

場 所 砂防会館 別館六甲会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席9名、監事出席2名、理事出席3名、同席者1名

議 事

第1号議案「令和元年度事業報告書の承認」の件

第2号議案「令和元年度財務諸表の承認」の件

第3号議案「理事選任」の件

第4号議案「監事選任」の件

第5号議案「評議員選任」の件

報告事項

(1) 顧問委嘱について

(2) 基本財産等の運用について

(3) 昭和天皇記念館の状況について

○第21回評議員会

評議員会の決議があったものとみなされた日 令和3年3月16日

評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者 会長 伊吹文明

議事録の作成に係る職務を行った理事 会長 伊吹文明

評議員総数 11名

(評議員会の決議の目的である事項)

第1号議案「令和2年度学術研究に対する助成事業承認」の件

第2号議案「令和3年度事業計画書の承認」の件

第3号議案「資産取得資金の計画期間(事業年度)等の変更承認」の件

第4号議案「令和3年度収支予算書の承認」の件

第5号議案「理事選任」の件

IV. 会員の状況

令和3年3月31日現在会員数

個人会員 518人

法人会員 36社

賛助会員 33件

個人終身会員 3,539人

法人永久会員 27社

計 4,153

《 附属明細書 》

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。